


2023 ~ 2024 年度国際ロータリーのテーマ

世界に希望を生み出そう

●会長 中島 祐爾
●幹事 緒方 公一

 No.1854 令和 06 年 03 月 13 日 第 31 回例会

※例会日 毎週水曜日 12:30~

※例会場 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内

※事務所 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内 TEL 354-4521 FAX 354-4053

※ URL <https://www.serc2720.org> ※ email serc@serc2720.org



世界に希望を生み出そう



■点鐘

■国歌斉唱「君が代」

■ロータリーソング「奉仕の理想」

(ソングリーダー 彌富照皇)

■来訪者紹介(会長 中島祐爾)

板橋南区扶輪社 林政豪 君
熊本東RC 守谷光弘 君(オンライン参加)

■会長の時間(会長 中島祐爾)

アーサー・フレドリック・シェルドン

略歴 1868 年生まれ
1899 年シカゴで出版社設立
1902 年シェルドン・ビジネス・スクール開校
(商売に成功する方法) など商売に関する本も出版

ロータリーといえばポールハリスは皆さんご存じだと思います。ロータリークラブの創設者の一人です。でもこのアーサー・フレドリック・シェルドンは 1905 年のロータリー創設者ではありません。ロータリークラブ入会は 1908 年ハリーラグラスに誘われてチェスリー・ペリスと共にシカゴ RC に入会しています。誘ったハリーは親睦・互惠派でこの二人を勢力拡大の目的で入会させたが、二人ともポールハリスの考え方に同調して奉仕・拡大派として行動していきました。

ロータリーには 2 つの公式標語があります。一つは「超我の奉仕」それともうひとつが「最もよく奉仕する者、最も多く報われる」です。この「最もよく奉仕する者、最も多く報われる」は 1911 年、オレゴン州ポートランドで開催された全米ロータリークラブ連合会の第 2 回ロータリー大会でロータリーの標語として承認されました。英語で言うと「He profits most who serves best」です。

これは、前年にシカゴで開かれた第 1 回ロータリー大会で、アー



サー・フレドリック・シェルドンが行った演説を基に作られた標語です。

実は第 1 回大会の晩餐会でのスピーチでは多くのスピーチがあり、その中の一つであったため殆ど注目されなかったそうです。その時の言葉は「He profits most who serves his fellows best」(自分の事業に関係する人たちに、最も奉仕した人が、最も多く報いられる)という言葉でした。ビジネススクールを開校しているシェルドンらしく商売に掛けての言葉であったと思います。

そして翌年第 2 回大会で「私の宣言」というスピーチの内容が、参加者に極めて強い印象を与えたため、大会議事録として配布された報告書の中に印刷されたうえ、He profits most who serves best という言葉が、この大会で採択され「ロータリー宣言」の結語として採用されました。この大会でのスピーチではシェルドンは欠席していて、チェスリー・ペリーが原稿を代読していました。その後イギリスやヨーロッパ大陸では、このシェルドンが提唱した「profits」利益という言葉に対する反発は強く、毎年このモットーを廃止しようとする提案が出されたそうです。

1929 年ダラス大会では危うく廃止されようとしていました。この大会で身体障害児童の救済事業がロータリーの最優先課題として実践することが決定しています。

それでもこの標語は残り 2004 年規定審議会で「They profits most who serves best」に修正され、さらに 2010 年規定審議会で現在の標語「One profits most who serves best」となりました。人間の欲としてどうしても「最も多く報われる」だけを求めてしまいがちですが、そうではなく自ら多くの奉仕を行ってからその報いがある。それが一番気持ちもいいし、笑顔になります。

仕事でも一生懸命やって利益が出れば会社も潤い、社員にも還元でき笑顔が見られ明るい社内になると思います。これからもこの「One profits most who serves best」を思い出して仕事にロータリー活動に励んでいきます。

■幹事報告(幹事 緒方公一)

■来信案内

1) 光明(ひかり)童園より、会報「ひかりっ子新聞」の送付。



■クラブより

- 1) 第9回定例理事会報告。
- 2) 40周年式典の際の、着付けの件、役割分担の件。
- 3) 花見例会、地区大会の出欠の回答をよろしくお願ひします。

■今後の地区行事

2024	4月7日(日)	地区研修・協議会 山田公也、彌富照皇、前田日出夫、福井学、片岡貞志、松岡泰光、村瀬直久、古田哲朗、堤勝也、杉本整哉、西田智史、武末直大、宮川義行	熊本県熊本市	熊本城ホール
	5月17日(金) ~ 18日(土)	地区大会	大分県日田市	パトリア日田・日田温泉小京都の宿みくまホテル
案内中				

■ロータリー情報の時間
(ロータリー情報担当 潮谷愛一)



熊本県ボランティア連絡協議会 機関紙



熊本県ボランティア連絡協議会
〒860-0842
熊本県中央区宮原手塚町3番7号
熊本県社会福祉協議会ボランティアセンター内
Tel:096-324-5436 Fax:096-324-5427



「人生50年を追っかけて」

熊本県ボランティア連絡協議会
会長 潮谷 愛一

昭和40年ごろから、日本の核家族化がはじまったといわれる。今から60年前からとなる。

三世代家族が二世代に変わり、今では、専業主婦も少なくなり、女性も労働力となっている。従って、家事と育児の二つを女性が負うのはきつすぎると、男性育児も多くなり、保育施設も充実してきた。

といっても、住宅も狭く、教育費もかさむし、塾の費用もバカにならないと少子化が当たり前になっている。昭和40年ごろ、150万人の赤ちゃんが今や70万人と半減し、高齢化を押し上げている。

昭和40年といえば、国は子育てを大転換したことを知っている？「おんぶ抱っこは、程々に、せいぜいよくない」と20年間にわたって保健所で妊婦に教えた。このときから生まれた子は60歳にならうとしている。この人らの人生の途中に下記の事件が起こった。

40年前、児童養護施設で育った19歳の少年が、女子大生の首を絞めて殺害した。自分より強い者たちの暴力におびえ、泣くことも笑うことも、親に甘えることもできずに心を閉ざした少年は、他人とのコミュニケーションが極端に苦手な少年に育った。

少子化はなぜ起こるのか

(同居) 80歳 親 と 50歳 子 増加

少子化(1980年) 150万人生 → 今、79万人生			
虐待	いじめ	不登校	ひきこもり
21万人	61万人	30万人	14歳~64歳 146万人
50歳以上未婚		男 1980年 2.6% 今、28.25%	女 1980年 4.45% 今、17.81%
1965年	540	出生	せいぜいおんぶ抱っこは不要と国は指導した(20年間)
1980年	555	中3	校内暴力
1984年	559	大1	新人類 プラウソ
2000年	H12	35歳	モンスターペアレント (学校に文句を言う親)
2020年	R2	55歳	クレーマー・アンガーマネジメント (クレームをつける、怒る人)

○かわいがられなかった経験は、自立がむずかしい。

私は昭和60年にこんな本があることを知り、マスコに訴え、止めた。40年前のこと。

この表で50歳以上の人が、結婚しないことが極端に増加していることに驚くし、80歳を過ぎた親と同居しているという。

この20年間の間違った子育ての犠牲になった人々をおもい、昔からの日本人の子育てこそ正しく、素晴らしかったし、それを取り戻したい。

●こんな本=母子健康手帳



2中学生強盗致死疑い逮捕
大阪 SNSで美人局か22歳転落死

男子学生がSNSで美人局を暴露した大学生を転落死させた疑い。大阪府警は、SNSで美人局を暴露した大学生を転落死させた疑い。大阪府警は、SNSで美人局を暴露した大学生を転落死させた疑い。

事件 事故
2中学生強盗致死疑い逮捕
大阪 SNSで美人局か22歳転落死

大阪府警は、SNSで美人局を暴露した大学生を転落死させた疑い。大阪府警は、SNSで美人局を暴露した大学生を転落死させた疑い。

4中学生ら恐喝疑い逮捕
熊本 美人局か、20代男性被

熊本県警は、SNSで美人局を暴露した大学生を転落死させた疑い。熊本県警は、SNSで美人局を暴露した大学生を転落死させた疑い。

■委員会報告

(社会奉仕担当 宮川義行)

2月から取り組んできました施設への通学用自転車寄贈が無事完了しました。皆さまご苦勞様でした。毎年、水保まで届けてくれる村瀬会員、山鹿に行ってもらっている彌富会員、特にご苦勞様です。施設の方とも信頼関係ができ、卒園生の力にもなれる取り組みを今後も続けていけたらと思います。皆さん、ありがとうございました。



■出席報告

(出席・プログラム担当 生駒ちあき)

月日	会員数	出席者数	MU	修正出席者数	出席率 (%)
02月28日	43 (免3) 40	26	5	31	77.50
03月13日	43 (免3) 40	28 Zoom1			70.00

☆出席免除

02月28日

住江正治 島村徹男 永野昭一

03月13日

住江正治 島村徹男 永野昭一



☆欠席者

02月28日 (9名)

古田哲朗、井村宣敏、川崎直樹、小竹 誠、前田昭博、武末直大、山本浩之、山坂哲生、小野川善久

■スマイル報告

(親睦・スマイル担当委員 小竹 誠)



◎沼田敏雄 5,000円
歯修理(予約時間)のため早退しますので、お詫びのスマイルです。



◎前田日出夫 5,000円
会長エレクト研修セミナーの報告をしますので、宜しくお願いいたします。



◎宮川義行 5,000円
林さん、守谷さんのご来訪を歓迎いたします。先日、熊大付属中学校の生徒たちと「社会で必要な力は何か?」「人は何のために働くのか」というテーマでグループディスカッションをしました。彼らに何を伝えられるか考えて、職人の事を話しました。「仕事は先輩の背中をみて盗め」「技術は渡り職人に学べ」全国を渡り歩いて技を習得した職人を金筋(きんすじ)と呼んでいました。先輩金筋の中村政次郎さんに憧れ、20代の頃、刷毛1本で全国を渡ろうと本気で思っていました。そんな話をしました。先週彼らから礼状が届きました。僕も彼らの素直な声を聞かせてもらって感謝しました。先生方にも感謝しています。



◎中島祐爾 2,000円
台湾板橋南区扶輪社 林さんの来訪を歓迎してスマイルします。来月4月12日~14日も楽しみにしています。そして6月16日のグローバル補助金による台湾での検査キャンペーンも数名行きます。宜しくお願いします。



◎杉本整哉 2,000円
守谷さん、台湾より林さんのご来訪を歓迎いたします。林さん、今日は宜しくお願いいたします。林さんとは久しぶりにお目にかかれて嬉しいです。

■卓話

(会長エレクト 前田日出夫)

「PETS 報告」



2024 - 25 年度の共同目標

ロータリーのビジョン声明

「私たちは世界で、地域社会でそして自分自身の中で持続可能な良い変化を生むために人びとが手を取り合って行動する世界を目標としています」

優先事項1「より大きなインパクトをもたらす」の目標

1. ポリオを根絶し、ロータリーの役割を強調し、ポリオのない世界のための計画を立てる。
2. ロータリー財団への寄付全額を増やし、2025年までに20億2,500万米ドルの恒久基金を築く。
3. クラブ、地区、国際レベルで、地域社会の調査およびプロジェクトとプログラムの測定を奨励する。

優先事項2「参加者の基盤を広げる」の目標

1. クラブとロータリーファミリーの多様性、公平さ、インクルージョンを育むための活動を推進する。
2. 既存の関係を強化し、ロータリーの行動計画に沿った新たなパートナーシップを築く。
3. 革新的なクラブと新しい参加経路を確立し、奨励させる。
4. 地元と海外の地域社会におけるロータリーと会員のインパクトに対する認識と理解を高める。

優先事項3「参加者の積極的なかわりを促す」の目標

1. 会員のニーズに応え、会員維持率を高めるためにクラブを支える会員参加のためのツールを充実させる。
2. 参加者、特にロータリークラブとロータリーアクトクラブ間の協力とつながりを強化する。
3. 職業上のつながりを育み、リーダーシップスキルを養うためにロータリーを通じて提供される機会を紹介する。

優先事項4「適応力を高める」の目標

1. より大きな協働と運営効率を促進するための革新的なアプローチを試行することにより、地域の適応力を支える。
2. ロータリーのリーダーシップとガバナンスにおいて、多様性、公平さ、インクルージョンを支援する。

2024 - 2025 年度 地区ガバナー方針 「寛容な心でロータリーの未来、 そして若者の未来を考えよう」

国際ロータリー第 2720 地区
2024 - 2025 年度ガバナー
三村 彰 吾



2024-25 年度の国際ロータリー第 2720 地区のスローガンは「寛容な心でロータリーの未来、そして若者の未来を考えよう」です。

まず「寛容な心」ですが、ロータリアンになっていろいろな研修会や会合でこの言葉をよく耳にします。何か不都合なことがあってもお許しくださいということに使われますが、日本のロータリアンはこの言葉を聞く心を広く持つことができます。私はこれが DEI だと思います。

次に「ロータリーの未来」についてです。1905 年ポール・ハリスがロータリークラブを作って 100 年以上が経過しました。世の中は目まぐるしく変化しています。ロータリーも変化することが必要であり、実際に国際ロータリーも変化していますし、私たちにも変化を求めています。変化するためにはまず、今のロータリーを知る事が不可欠であり、その上で未来を考えたいと思います。

併せて、今後の日本、世界を背負って立つ若者の未来を考えていこうということです。まずはロータリーファミリーの若者と積極的に関わり対話しそして未来を考えましょう。

これを踏まえた上での 2024-25 年度の地区の活動重点項目です。

① ロータリーのことをもっと知ってもらおう

1) ロータリーの今をロータリアンに知ってもらおう

先ほども述べたように今のロータリーをまずは知っていただきたい。特に会長エレクトの皆様にはこの機会にできるだけ勉強していただき、クラブの皆様に伝えてください。そのために次年度は熊本 2 回、大分 2 回計 4 回の RLI を企画しております。RLI のイベントを一年で行うのは我が地区では初めての試みになります。参加された方はおかげになりますと思いますがロータリーのことを学ぶ大変良いプログラムだと確信しておりますので是非皆様ご参加ください。

2) ロータリーのことを社会に知ってもらおう

これにつきまちはいろいろな方法があると思います。

まずは各様のクラブで行なっている奉仕活動を他のロータリアンやロータリーファミリーそしてロータリアン以外の方に知ってもらいましょう。そうすることによってロータリーを広く認知してもらい、興味がある人や共感した人が入会する可能性にもつながります。会員が増えることにより良い奉仕活動ができるでしょうし、奉仕の好循環が生まれることでしょう。

② 若者と繋がって若者のことを考えよう。

1) ロータリーの青少年プログラムに参加しましょう

国際ロータリー第 2720 地区の青少年プログラムとしてインターアクト、ロータリー青少年交換、ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA) があります。たくさんのおもしろい若者たちと交流する機会を持ち、今の若者の思いや希望を聞きましょう。そうすることで今後の未来が見えてくるかもしれません。

2) 本山記念奨学生と交流を持ちましょう

ロータリー本山記念奨学生会は留学生の優れた学業の達成を支援し、同時にカウンセラーや言語クラブとの交流を通じ、ロータリー精神を学び、国際理解を深め日本と母国との繋がりとなるなど国際親善に尽くす人材を育てることを目的としています。

是非、本山記念奨学生を尊語にお呼びください。素晴らしい交流ができると思います。そして是非話クラブになってください。

3) ローターアクトについて考えましょう

2019 年の規定審議会でローターアクトクラブが正式に国際ロータリーに加盟することになり、国際ロータリーはローターアクトクラブとローターアクトクラブの連合体ということになりました。しかしながら、ローターアクトクラブに対しサポートは必要と考えます。そのため地区組織としてローターアクトサポート委員会を設立しサポートを届けようと考えています。

また、ロータリー財団の補助金事業についても環境を整備しようと考えています。是非皆様もご理解ご協力お願いします。

③ ロータリー財団を理解し活用しよう

1) ロータリー財団のことをもっと知ってもらおう

ロータリー財団の使命は、ロータリー会員が、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、増進促進に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。ロータリー財団はロータリーの活動の根幹を担っている私は考えます。少し複雑ですが是非勉強してください。

2) ロータリー財団に寄付をしましょう

非営利組織であるロータリー財団は、ロータリー会員をはじめ、より良い世界を築こうという

ジョンを共有する財団支援者の方々からの自発的な寄付のみによって支えられています。寄付はロータリー財団の補助金となり、助けを必要とする地域社会に持続可能な変化をもたらす活動に役立てられています。寄付の種類もさまざまです。

3) 補助金事業を行いましょう

ロータリー財団の補助金は、クラブや地区が提唱するさまざまな奉仕プロジェクトのほか、奨学金や研修を支えています。補助金の種類には地区補助金、グローバル補助金、災害救援補助金、大規模災害補助金があります。今年度はグローバル補助金に挑戦してみてください。

④ ポリオ根絶をさせよう

1) ポリオについてもっと知ってもらおう

ロータリーはポリオ根絶を組織の最優先項目とし、1985 年にポリオプラス・プログラムを立ち上げました。世界のポリオ根絶推進活動のパートナー団体との協力を開始した 1988 年には、125 以上国で 25 万冊以上の発症が確認されていましたが、以来、約 30 億人の子供にポリオの予防接種を行い、発症数は 99.9% 減少しています。2023 年における発症はアフガニスタンとパキスタンの 2 国だけとなり野生体の発症は 12 件になりました。本当にもう少すです。



2) ポリオデーのイベントを行いましょう

10 月 24 日は世界のポリオデーです。その前後でポリオのイベントの企画をお願いします。クラブ単位、グループ単位で是非盛り上げていきましょう。

物価目標

会員総数	2600 人 1割増
My ROTARY 登録率	60%
年次基金	一人当たり 150ドル
ポール・ハリス・ソサイエティ	30 名
ポリオプラス	一人当たり 30ドル
ポリオプラス・ソサイエティ	30 名
本山奨学会	一人当たり 15,000 円

■点鐘

編集 松尾 浩

● (3月10日日曜日) の熊本日日新聞にテント寄贈式の記事が掲載されました



● 熊本市のホームページに掲載されます！

https://www.city.kumamoto.jp/hpkiji/pub/detail.aspx?c_id=5&type=top&id=53912

令和6年3月6日(水) 熊本東ロータリークラブ様からの熊本県へのテント寄贈



熊本東ロータリークラブ様から、3月5日(火)午後4時30分、熊本市(区)にテントを寄贈いただきました。テントは熊本市の災害対策本部から、熊本市では災害対策本部からテントの寄贈が決定されました。寄贈されたテントは熊本県東部地区で被災した方々に活用される予定です。